

評価シート

耐震	部位	壁	分類	開口型	有効期限	2027年3月31日	評価番号	A-473	
評価技術名称					連絡先	https://www.aichi-gensai.jp			
部分開口 構造用合板補強工法					愛知建築地震災害軽減システム研究協議会				
大壁「370開口」裏棧なし					実験実施機関 :名古屋工業大学				
概要	技術概要								
	裏棧を用いることなく、真壁の仕様で開口部を設けた構造用合板で補強する工法。								
	技術の特徴						コスト		
要	<ul style="list-style-type: none"> 壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能な裏棧なしの仕様 換気扇などの開口部にも使用可能 一般流通品なので取り扱いが容易 						サンプル構面	62,251円/kN (外側半間評価)	
							設計見積り例	—	
	適用範囲					写真・図			
構法		木造在来軸組工法							
規模		3階建て以下							
基礎、地盤		特になし							
適用部位		内外壁							
耐震性能									
評価仕様:真壁仕様									
壁基準耐力		壁基準剛性							
3.64kN/m		511kN/rad./m							
A-111からの低減係数 $\alpha = 0.7$									
壁基準耐力 $5.2 \times 0.7 = 3.64$									
設計方法									
① 柱接合部による低減 : 取付部分が健全であること									
② 劣化による低減 : 取付部分が健全であること									
施工者指定									
特になし									
主要構成部材の仕様									
仕様	構造用合板	真壁、厚 12mm、縦使い、各高さ 400mm 以上							
		釘 N50、CN50、@100mm 以下、四周打ち、端あき 15mm 以上 20mm 以下							
	間柱	なし							
	継手受材	なし							
	上下受材	なし							
	四方受材	奥行 30×見付 40mm 以上、釘 N75 @150mm 以下、または N90 @200mm 以下							
	下地材	なし							
	アルミアングル	なし							
かさ上げ材	なし								
その他									